

# 望月『東京』記者に示した『毎日』官邸キャップの忠告の内幕

## 菅官房長官のオフレコ取材拒否が引き金か

佐藤和子

「(あなたのツイートを)削除してほしい。『毎日新聞』政治部の官邸キャップは、『東京新聞』社会部の望月衣塑子記者にそう迫った。『質問が下手すぎる』(質問は)国会が終わった後に」。男の口から次々と飛び出してきた。菅義偉官房長官の記者会見で厳しい質問をぶつける望月記者への苛立ちを吐き出しているかのようだ。

「会社の方に聞いてください」というコメントでいいですね?。突然、確認を求められた。翌2月6日早朝、『毎日新聞』デジタル版は、「望月記者は指させない」：事実上、菅義偉官房長官の記者会見で厳しい質問をぶつける望月記者への苛立ちを吐き出しているかのようだ。

「望月記者は指させない」：事実上、菅義偉官房長官の記者会見で厳しい質問をぶつける望月記者への苛立ちを吐き出しているかのようだ。

### 政治部記者の本音か

手元にある2人のやりとりの記録(概要)には政治部記者の本音が露骨に現れている。

2月5日午前。菅官房長官の記者会見が終わる会場を出た望月記者は先述の官邸キャップに呼び止



1月22日午前、菅義偉官房長官の記者会見で挙手する『東京新聞』の望月衣塑子記者。(手前。提供/時事)

められた。「予算委員会はいま一番忙しい時期だから時期を間違えちゃいけない。6月とか国会が終わった後にやればもうちょっと指されますよ」。官邸キャップは、来るな、質問するな、とは言わないが、忠告にしてはきつい言葉だ。「(私は)官房長官番号もやっていい。その立場から言わせると質問が下手すぎる。完全に喧嘩売っている。もう少しうまくやらないと引き出せない」

望月記者の質問には、様々な評価があり、この意見も典型例の一つだ。そして次のようにも言っている。「外野で言うって終わり。負け犬の遠吠え。はっきり言って『官房長官会見で政権のことを追及す

るより別の方法で追及した方がお互いのためになる」。菅官房長官の都合で指名が制限されている現状には、「それが政治ですから」。

望月記者は、自分の質問に絡んで菅官房長官が番記者とのオフレコ懇談を拒む手口を批判した。しかし、官邸キャップは「政治家はそういうものだから。その中で我々はいかに(情報を)取っていくか。菅さん個人の問題じゃない。単純すぎる」と否定していた。

先週菅官房長官に抗議して以降、3回連続で指されず。なんと番記者たちが「望月が手を挙げても指させない」と内々で決めたとの情報が届いた(1月29日、抜粋)官邸キャップはこのツイートを印刷した紙を望月記者に突き出し、「これって事実と違いますよね」と現れたのだった。

菅官房長官は昨年11月に「桜を見る会」問題が浮上して以降、「毎日」をはじめ番記者からの厳しい追及にさらされた。関係者によると、菅官房長官は指名権を都合よく利用し、次第に質問を制限するようになったらしい。この流れの

なかで、もともと菅官房長官が答えたくない望月記者の指名も極端に減った。

1月は参加した14回のうちたった2回(3問)。1月22日、ついに質問の際「非常に不当な扱いを受けている」と抗議したのだ。この日以降、菅官房長官は番記者による夜回りなどオフレコ取材にも応じなくなり、幹事社(朝日)と「東京」の番記者に望月記者への対応を求める声が相次いだという。望月記者がツイートしたのは、そんなさなかだったようだ。

望月記者を批判した『毎日』だが、希望する記者が質問できるように努力してくれるのだろうか。本誌編集部を通じて聞いてみた。「記者が質問できるようにするのは当然のことだ。内閣記者会に加盟しているか否かにかかわらず、出席質問ができる環境を維持すると同時に、出席したいとの新たな要望があれば、積極的に受け入れるべきだと考える」(同社広報)ぜひ、期待したい。

さとう かずこ ライター